

NAPCO

ノースアメリカンポリマーカンパニー

化学物質安全性データシート

MSDS 作成日： 2009 年 10 月 27 日

製品名： ポリグラス®クイックドライ・ハイグロス 320

製造業者： NAPCO 社

製品及び会社情報

ノースアメリカンポリマーカンパニー

7315 Hamlin Ave.

Skokie, IL 60076

製品に関する緊急時連絡先：

インフォトラック緊急ホットライン (800) 457-4280

米国・カナダ以外での緊急時の連絡先：(352) 323-3500

製品情報問合せ先：

800-888-1081/847-779-6464

別名／組成

石油系溶剤／添加混合

2. 危険有害性の要約

緊急概要

外観／臭い：溶剤臭のある白色の液体

健康影響の可能性：

急性眼刺激性：

重度の眼刺激性を示し、眼の充血や涙眼を引き起こすことがある。

急性皮膚刺激性：

重度の皮膚刺激性を示すことがある。皮膚への接触が長時間に及ぶと、皮膚炎や油性ざ瘡を引き起こすことがある。

急性吸入毒性：

蒸気を吸入すると、めまい感が生じたり、肺刺激性が示されたりすることがある。過度に吸入すると、めまい感・悪心・頭痛・協調運動不能が生じることがある。

急性摂取：

通常の使用条件下では、経口が曝露経路になる可能性はないと見なされている。摂取すると悪心が生じることがある。

慢性曝露：

キシレンの蒸気は有害である！高濃度のキシレンに長時間曝露すると、眼・鼻・喉・肺刺激性、及び中枢神経系（脳）への作用を示すことがあり、そのため、めまい感・呼吸困難・意識消失・昏睡・死亡が生じることがある。大量のキシレンへの曝露により、心雑音が聴取されたとの報告がある。大量のキシレンに長時間曝露すると、脳・肝臓・腎臓に作用し、損傷を与えることがある。皮膚から吸収される可能性もある。長時間の接触が繰り返されると、刺激性を示す。眼刺激物。経口有害性があり、飲み込むと死に至る。肺に吸入されると健康被害が生じる。肺に吸入され、肺損傷を引き起こす恐れがある。ラットでは、濃度 500 ppm のキシレンを長時間にわたり吸入すると、致死作用が生じるが、先天性欠損が生じることはない。濃度 400 ppm であれば作用は一切ない。経口投与量が多いと、妊娠マウスに対して毒性を示し、マウス胎仔の口蓋裂発現に至る。

既往症の悪化：

曝露すると、既往の呼吸器系疾患や皮膚疾患が悪化することがある。

化学組成

成分

CAS 番号

パーセント組成

自社開発の溶剤混合物

企業秘密

15～20

キシレン (o-,m-,p-異性体)

1330-20-7

10～15

エチルベンゼン

100-41-4

0～5

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

108-65-6

0～5

応急措置

事故の場合の応急措置：

目に入った場合：

直ちに、多量の水で 15 分以上続けて洗眼する。有害作用が生じたら、直ちに眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：

直ちに、15 分以上続けて皮膚を洗う。刺激の少ない石鹼と水で皮膚を徹底的に洗う。付着した、又は汚染された衣服を脱ぎ、目に入らないように注意する。有害作用が生じたら、直ちに眼科医の手当てを受ける。

吸入した場合：

新鮮な空気のある場所に移す。必要であれば人工呼吸器を用い、生命維持機能を補助する。

飲み込んだ場合：

意識がある場合は水を与えるが、吐かせないこと。直ちに医師の手当てを受ける。

火災時の措置

火災時の危険有害性データ：

自然発火：なし

引火点：39°F (4°C)

可燃限界（容積パーセント）：下限：なし 上限：なし

消火剤：

小規模火災：粉末消火剤、炭酸ガス、水噴射、又は泡消火薬剤。

大規模火災：水噴射、霧状放射、又は泡消火薬剤。危険でなければ、火災の区域から容器を安全な場所に移す。消火後も十分に時間をかけて、炎が接触した容器の側に冷却水をかける。タンク火災の場合は、タンクに近づかない。タンクの安全弁から音が発生したり、火災のためにタンクが変色している場合は、直ちに避難する。

特定の消火方法：

火災によって刺激性ガスや有毒ガスが発生することがある。プラス圧力の自給式呼吸器（SCBA）や建物の火災用の消防用服による保護には限界がある。消火に不要な人が近づかないようにして危険区域を隔離し、立ち入りを禁止する。消火を行う者は風上に位置し、低所を避ける。消火する前に液体が流出した場合は、該当する当局に通知する。

火災と爆発の危険性：

引火物／可燃物は熱、火花、炎等で引火することがある。蒸気が引火源に達し、逆引火することもある。容器は火災の熱で爆発する恐れがある。屋内、屋外又は下水溝での蒸気爆発の危険がある。下水溝に液体が流出すると、火災や爆発の危険が生じることがある。

事故による漏出時の措置

漏出物の除去と処分：

漏出の場合は漏出した場所を洗浄し、人体を保護する。洗浄を始める前に着火源をすべて取り除く。火花の出ない工具を使用する。漏出が少量の場合は、保護手袋、保護メガネ、保護エプロンを着用した上で、ポリパッド又はその他の適切な不燃性吸収剤で取り除く。連邦・州・地域の規則を完全に遵守して、製品、残留物、使い捨て容器又は中敷きをすべて処分する。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い／保管：

換気のよい涼しい場所に保管する。炎、火花、又は高温面を近づけない。容器の上又は近くで切断や溶接用のトーチを使用することは禁止である。空の容器にも爆発性蒸気が残っていることがある。その他の注意事項：汚染された衣服を着用することは禁止である。衣服が汚染されたら、着用する前に洗濯するか、又はドライクリーニングする。オイルを吸収した靴は廃棄する。使用后、及び喫煙や飲食の前には石鹼と水で徹底的に手を洗う（残留物の除去には、水無しで使えるハンドクリーナーを使用してもよい）。過度の皮膚接触を避ける。

曝露防止措置及び保護措置

曝露に関するガイドライン：

成分

ACGIH

（米国産業衛生専門家会議が定義した許容濃度）

NIOSH

（米国労働安全衛生研究所が定義した許容濃度）

OSHA-PEL

（米労働安全衛生局が定義した許容濃度）

自社開発の溶剤混合物

200 ppm TWA（時間加重平均値）

200 ppm TWA ; 950 mg/m³ TWA

200 ppm TWA ; 950 mg/m³ TWA

キシレン (o-,m-,p-異性体)

100 ppm TWA

150 ppm STEL (短時間曝露限界値)

ND

100 ppm TWA ; 435 mg/m³ TWA

150 ppm STEL ; 655

エチルベンゼン

100 ppm TWA

125 ppm STEL

100 ppm TWA ; 435 mg/m³ TWA

125 ppm STEL ; 545 mg/m³ STEL

100 ppm TWA ; 435 mg/m³ TWA

125 ppm STEL ; 545

mg/m³ STEL

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

ND

ND

ND

技術的管理 :

MSDS に記載される曝露限界未満の周囲雰囲気職場において維持するためには、換気を十分に行わなければならない。

呼吸器の保護具 :

呼吸器を保護する必要がある場合は、米連邦 OSHA 規格 (連邦規則集第 29 巻第 1910 条 134 項)、適用される米国州規則、又はカナダ CSA 規格 Z94.4-93、及びカナダの州の適用規格で許可されている保護具のみを使用すること。酸素濃度が 19.5%未満の場合、OSHA によって IDLH (脱出限界濃度) と見なされる。このような雰囲気の場合は、プレッシャデマンド型の自給式呼吸用保護具、又はフルフェイス型送気マスクを使用した上で、OSHA の呼吸器保護基準 (連邦規則集第 29 巻第 1910 条 134 項-1998 年) に従い、着用者の自己

肺力によって吸気する構造のホースマスクで補助する必要がある。

目／顔面の保護具：

保護ゴーグル又は安全メガネを着用する。作業区域内で、緊急洗眼設備と安全シャワーを利用できるようにしておくこと。

皮膚の保護具：

工業用として日常的に使用する場合は、ネオプレン製手袋又はブチルゴム手袋を着用する。作業に適した身体保護具を使用する。エプロンその他、不浸透性の身体保護具が望ましい。緊急対応処置を行う場合は、全身を保護するタイプの化学用防護服が望ましい。

物理的及び化学的性質

物理的外観： 白色の液体

臭い： 芳香性

pH： ND

比重／密度： 1.29

水溶性： ごくわずか

融点： N/A

氷点： ND

沸点： ND

蒸気圧： ND

揮発分の容積比率： 53

蒸発率： >1

粘度： ND

引火点： 39°F (4°C)

爆発限界： 下限：ND

上限：ND

引火性： ND

自然発火温度： ND

安定性及び反応性

化学的安定性：

安定

避けるべき条件：

熱、火花、及びその他の引火源

避けるべき材料／化学物質

強酸、酸化剤

危険有害な分解生成物：

加熱すると蒸気が発生し、炭素・硫黄が酸化されたり、その他の熱分解生成物が発生することがある。

危険有害な重合：

危険有害な重合は起こらない。

有毒性情報

急性毒性

自社開発の溶剤混合物

ラット吸入 LC50 値：>2230 mg/m³/4 時間；ラット経口 LD50 値：4100 mg/kg；ウサギ皮膚 LD50 値：>2 g/kg

キシレン（o-,m-,p-異性体）（1330-20-7）

ラット吸入 LC50 値：5000 ppm/4 時間；ラット吸入 LC50 値：47635 mg/L/4 時間；ラット経口 LD50 値：4300 mg/kg；ウサギ皮膚 LD50 値：>1700 mg/kg

エチルベンゼン（100-41-4）

ラット吸入 LC50 値：17.2 mg/L/4 時間；ラット経口 LD50 値：3500 mg/kg；ウサギ皮膚 LD50 値：15354 mg/kg

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート（108-65-6）

ラット経口 LD50 値：8532 mg/kg；ウサギ皮膚 LD50 値：>5000 mg/kg

慢性毒性

発がん性：キシレン（o-,m-,p-異性体）（1330-20-7）

ACGIH：A4－ヒト発がん性に分類されない物質

IARC：vol.71[1999]；vol.47[1989]（グループ 3（区分外））

エチルベンゼン (100-41-4)

ACGIH : A3-動物発がん性であるがヒト発がん性不明の物質

IARC : vol.77[2000] (グループ 2B (ヒトに対して発がん性を示す可能性がある))

変異原性 : ND

生殖影響 : ND

発達影響 : ND

環境影響情報

環境運命 :

自社開発の溶剤混合物

試験と生物種

条件

魚類 (ファットヘッドミノー) の 96 時間 LC50

296~362 mg/L[流水]

キシレン (o-,m-,p-異性体) (1330-20-7)

試験と生物種

条件

魚類 (ファットヘッドミノー) の 96 時間 LC50

13.4 mg/L[流水]

魚類 (ニジマス) の 96 時間 LC50

2.661~4.093 mg/L[静止]

魚類 (ニジマス) の 96 時間 LC50

13.5~17.3 mg/L

魚類 (ブルーギル) の 96 時間 LC50

13.1~16.5 mg/L[流水]

魚類（ブルーギル）の96時間LC50
19 mg/L

魚類（ブルーギル）の96時間LC50
7.711~9.591 mg/L[静止]

魚類（ファットヘッドミノー）の96時間LC50
23.53~29.97 mg/L[静止]

魚類（コイ）の96時間LC50
780 mg/L[半静止]

魚類（コイ）の96時間LC50
>780 mg/L

魚類（グッピー）の96時間LC50
30.26~40.75 mg/L[静止]

甲殻類（ミジンコ）の48時間EC50
3.82 mg/L

甲殻類（ヨコエビ）の48時間LC50
0.6 mg/L

エチルベンゼン（100-41-4）
試験と生物種
条件

魚類（ニジマス）の96時間LC50
11.0~18.0 mg/L[静止]

魚類（ニジマス）の96時間LC50
4.2 mg/L[半静止]

魚類（ファットヘッドミノー）の96時間LC50

7.55～11 mg/L[流水]

魚類（ブルーギル）の96時間LC50

32 mg/L[静止]

魚類（ファットヘッドミノー）の96時間LC50

9.1～15.6 mg/L[静止]

魚類（グッピー）の96時間LC50

9.6 mg/L[静止]

藻類（緑藻）の72時間EC50

4.6 mg/L

藻類（緑藻）の96時間EC50

>438 mg/L

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート（108-65-6）

試験と生物種

条件

魚類（ファットヘッドミノー）の96時間LC50

161 mg/L[静止]

環境毒性：

植物や動物が（特に大量に放出された）この化合物に汚染されると、有害となるか、又は死に至る。この化合物が水域に放出された場合の影響に関するデータは、現時点では入手できない。特に大量に放出されると、水生生物に害を与える恐れがあると考えられている。

廃棄上の注意

廃棄物処理法：

再生やリサイクルが不可能な廃棄物はすべて、認定された適切な廃棄物処理施設で管理す

る必要がある。この製品が加工、使用又は汚染されると、廃棄物管理の選択肢も変わってくる可能性がある。州や地方自治体の廃棄物処理規則は、連邦の廃棄物処理規則とは異なる場合がある。容器及び未使用中の中身は、連邦・州・地方自治体の要件に従って廃棄すること。

輸送上の注意

米運輸省の正式輸送品目名：

米運輸省

正式輸送品目名

塗料

危険有害性クラス

3

国連番号

UN 1263

容器等級

II

適用法令

米国規制：

SARA（スーパーファンド修正および再授權法）第 III 編、危険有害性クラス：

火災危険性： 有

反応危険性： 無

圧力の放出： 無

急性健康被害： 有

慢性健康被害： 有

TSCA（米国有害物質規制法）

この製品の成分はすべて、TSCA 化学物質一覧表に登録されているか、又は TSCA の要件の適用除外が認められている。

米国の州規制：

次の成分は、以下の州有害物質リストの一以上に掲載されている：

成分

CAS

カリフォルニア州

マサチューセッツ州

ミネソタ州

ニュージャージー州

ペンシルベニア州

ロードアイランド州

自社開発の溶剤混合物

Trade Secret

掲載有

掲載有

掲載有

掲載有

掲載有

掲載有

キシレン（o-,m-,p-異性体）

1330-20-7

掲載有

掲載有

掲載有

掲載有

掲載有

掲載有

エチルベンゼン

100-41-4

掲載有

掲載有

掲載有

掲載有

掲載有

掲載有

カリフォルニア提案 65 化学物質リスト：警告！この製品は、がんを引き起こすとカリフォルニア州が確認した化学物質を含有している。

その他の情報

全米防火協会のファイア・ダイヤモンド（有害格付け）－NFPA（R）：

健康障害： 3

燃焼性： 4

不安定性： 0

重要な略号一覧：

N/A－非該当 IDLH－生命または健康に対する差し迫った危険

ND－データなし PEL－許容曝露限度

ACGIH－米国産業衛生専門家会議 TWA－時間加重平均値

OSHA－米労働安全衛生局 STEL－短時間曝露許容濃度

TLV－許容濃度 NTP－米国国家毒性プログラム

IARC－国際がん研究機関

本書に記載する情報は、入手可能なデータに基づいており、正確であると考えられている。ただし NAPCO 社は、当該データの正確性、又は当該データを用いて得た結果に関して、明示・黙示の保証を行うことは一切ない。